

．農薬の安全使用

1 ．農薬の安全・適正使用

農薬は、農作物を加害する病害虫や雑草を防除し、または農作物の生理機能の増進・抑制に用いられる薬剤であるが、ほとんどの農薬は化学物質であり、生理活性を有している。対象とする農作物の病害虫・雑草以外の人や動物などの生物にも何らかの作用を持っていることから、ラベルに沿って適正に使用しなければならない。

農薬の使用にあたっては、「農薬取締法」（p.406～413）および「農薬を使用するものが遵守すべき基準」（p.414）、「住宅地等における農薬使用について」（p.415～417）などを十分に理解し、必要な事項を遵守する。農薬はラベルの表示に従って使用し、使用する場所、目的に合致した農薬の種類・剤型・散布方法等を選ぶのはもちろんのこと、普段から周辺住民と話し合い、農薬散布について理解を求めておくことも重要である。

（1）使用者に対する安全

ア 使用前の注意事項

ラベル表示

農薬のラベルには、その農薬を使用するために必要な事項が表示されているので、登録変更情報に注意するとともに、使用の都度ラベルをよく読んで、使用方法や使用上の注意事項に従って使用する。

防護装備

例年、マスク、服装など防護装備の不備により農薬中毒事故が発生している。作業を行う際には、保護マスク、保護眼鏡、手袋、帽子、防除衣など農薬の散布に適した防護具を備える。

防除器具の整備、点検

農薬の散布中に起こる防除器具の故障は事故につながる人が多いので、事前に十分点検する。

作業者の健康管理

事前に体調を整え、少しでも体調の悪い時、外傷のある時等は散布作業を行わない。

特に、空腹、疲労、睡眠不足、飲酒後、肝機能の低い人、病後、妊娠・生理中の女性は、解毒機能が低下しているので散布作業は行わない。

イ 使用中の注意事項

散布液の調製

散布液の調製時には濃厚な農薬に触れることが多いので、マスク、手袋、眼鏡などの防護具を装着する。水和剤を開封するときには、袋の底を軽くたたいて粉を下の方に沈め、開封箇所のすぐ下を折ってから、丁寧に開封すると粉立ちが少ない。水和剤などを溶解するときは、一度ゆるい糊状に溶かした後、少量ずつ水を加えて、順次薄めていく方がよい。

作業時間

農薬の散布は、原則として風のない、涼しい朝夕に行う。日中の暑い時間は、上昇気流が生じ、薬剤が舞い上がりやすくなるほか、疲労が蓄積しやすく事故につながりやすい。

パイプダスター

散布中のパイプダスターは、風量を調整してホースに張りを持たせ中持ち（パイプを支える）は行わない。

長時間散布

農薬の散布は、疲労しやすく炎天下での長時間の散布作業は避け、朝夕の涼しい時間を選び、2～3時間ごとに交替して行う。作業は2時間程度を限度とする。また、十分に休憩を取りながら、短時間に集中的に作業を行う。

作業中の喫煙、飲食

散布作業の休憩時に喫煙や飲食をすると、農薬が体に入ることがあるので、なるべく行わないようにする。やむを得ず喫煙や飲食をするときは、手や顔を十分に洗い、うがいをして、散布場所から離れる。

農薬を浴びない工夫

剤型や散布機具等の組み合わせにより、農薬を浴びる量を減らすことができるので適切な剤型や散布機具等を選択する。

施設内での散布

温室、ビニールハウス等の施設内で散布作業を行うときは、施設内に農薬が充満し、散布者への付着、吸入が多くなるので、防護マスクの装着等、特に防護装備を厳重にする。

くん蒸剤、くん煙剤の使用

土壌くん蒸に用いられる揮発しやすい農薬および、施設等においてくん蒸剤、くん煙剤を使用する場合は、防護マスクを装着して作業するとともに、周辺にガス等が漏れないようにする。

農薬が付着したとき

農薬が皮膚についた場合は、直ちに石鹸で洗う。また、農薬をひどく浴びたときは、すぐ水でよく洗うとともに、衣服を替え、入浴やシャワーにより体についた農薬を洗い落とす。

ウ 使用後の注意事項

保管

農薬は、乾燥した冷暗所に鍵をかけて保管する。また、小分け、容器の移し替えは、誤用、誤飲防止のため絶対に行わない。また、使用しない農薬は産業廃棄物処理業者に委託するなど適正に処分する。

身体

全身を石鹸でよく洗う。着替えた防除衣は、他の洗濯ものと区別して洗濯する。

体力の回復

散布後は疲労が激しいので、体力の回復を図り、飲酒は控える。

体調に異常を感じた時

農薬の散布後、気分が少しでも悪くなったら、医師の診断を受ける。この際、農薬散布の内容と使用薬剤名を告げる。

(2) 農作物に対する安全(薬害)

農薬を誤った方法で使用すると農作物に薬害が発生する場合がありますので、ラベルをよく読んで使用する。また、品種、生育状況、気象条件、土壌条件等の違い、農薬の混用、近接散布により薬害が発生する場合がありますので注意する。

農薬を適正に散布したにも関わらず、その効果が現れない場合は、同じ農薬を再度散布するのではなく、系統の異なる農薬を使用する。

(3) 農産物に対する安全(食品)

全ての農薬には、農作物中に基準を超えて農薬が残留しないように適用作物毎に使用回数、使用時期、使用濃度等の使用方法が定められ、登録されている。安全な農産物を生産するためには、最新の登録内容を確認するとともに、有効期限内に使用するなど、使用方法を遵守する。

ア 不適正な農薬使用の原因としては、ラベルを十分に読まず、登録内容を十分に確認しないまま、思いこみにより使用するケースが多いことから、防止対策として、使用前にラベル等で登録内容を十分に熟読し、対象作物、使用量(濃度)、使用時期・回数等を確認した上で使用する。

イ 次に散布する農作物へ影響を及ぼさないよう、散布後の散布器具は十分洗浄する。

ウ 周辺に農作物がある場合は、その生産者と連絡を取り合い、収穫時期がいつになるか、散布予定の農薬が周辺作物にどのような基準値が設定されているかなどについて確認し、飛散防止措置を講ずるとともに、周辺作物への飛散防止に努める。

エ 散布日時、場所、農薬名、散布量、希釈倍率、作物名、使用器具、散布時の天候、風の様子など農薬使用状況について、確実に記録する。

なお、以下の5薬剤については有効成分名と総使用回数をカウントする薬剤種類名が異なるので使用にあたっては十分に注意する。

	有効成分名	総使用回数の計数成分名
除草剤	グリホサートイソプロピルアミン塩など	グリホサート
	MCPAナトリウム塩など	MCPA
	2,4PA-Dアミン塩など	2,4PA
	ペンタゾンナトリウム塩など	ペンタゾン
殺菌剤	イミノクタジン酢酸塩など	イミノクタジン

(4) 周辺環境に対する安全

ア 家畜・蚕・ミツバチへの配慮

農薬は、その使用によって家畜や有用昆虫類に影響を及ぼすことがあるので、農薬の散布にあたっては、地域周辺の飼育状況を把握し、畜産農家や養蚕農家、養蜂家と調整する。

特に、ミツバチについては、国が調査した被害事例の大半が水稲のカメムシ防除の時期に水田周辺で発生していたことから、水稲開花期にミツバチが水田周辺に飛来することや、殺虫剤の暴露によりミツバチの被害が生じる可能性があることを踏まえたうえで、被害が生じないように留意すること。

イ 魚介類・水系への配慮

農薬の使用にあたっては、ほ場周辺の地形や、降雨などの気象条件を考慮し、水系への飛散、流入がないように注意する。特に水田においては、農薬散布後1週間は落水、掛け流しはしない。

農薬は一度で使いきれないように調製するが、やむを得ず残った散布液や散布に使用した器具を洗浄した水は、河川等には流さず、散布むらの調整等に使用する。

種子消毒剤等農薬の廃液処理にあたっては、廃液処理装置または簡易廃液処理方法で処理する。なお、残渣は、廃棄物処理業者への処理の委託等により周辺環境や水産動物等に影響を与えないよう安全に処理する。

ウ 空容器、空袋

空容器、空袋等は、廃棄物処理業者への処理の委託等により周辺環境や水産動物等に影響を与えないよう安全に処理する。

エ 周辺住民等への配慮

農薬散布について、周辺住民に対し防除への理解が得られるように努める。特に広域一斉防除を行うときは、危害防止のため十分な広報対策を講ずるとともに、十分な危被害防止対策を図り、周辺住民に健康被害を及ぼすことがないよう細心の注意を払う。

また、農薬の散布にあたっては、周辺にも十分注意し、関係者以外の住民や子供、家畜等が

近くにいないことを確かめてから散布する。

なお、土壌くん蒸に用いられる揮発しやすい農薬については、刺激性の強いものがあるので、施用やガス抜きに際しては、周辺に影響を与えないよう十分注意する。

オ 飛散等の少ない防除方法の選択

農薬の剤型、散布機具や散布方法の選択により、飛散の少ない防除を実施する。液剤散布の場合は、ドリフト低減ノズルの利用や散布圧力をかけすぎないように注意する。粉剤散布の場合は、風のない早朝散布に努め、散布圧力をかけすぎないように十分注意する。

なお、飛散が問題となる住宅地周辺や他作物近接地では、粒剤の利用も考慮する。

2 . 農薬登録における適用作物名

農薬登録の申請に際し、「農薬の登録申請に係る試験成績について」の運用について（平成13年10月10日付け13農産第3986号農林水産省生産局生産資材課長通知）が廃止され、「農薬の適用病害虫の範囲及び使用方法に係る適用農作物等の名称について」（平成31年3月29日付け30消安第6281号農林水産省・消費安全局農産安全管理課長通知）（別紙表1、2を掲載）として改訂された。

適用作物名については、表1、2を参照。

注1

改訂前の分類で既に登録されている農薬の扱い等について、「農薬の適用病害虫の範囲及び使用方法に係る適用農作物等の名称について」に係るQ & A（農林水産省 農薬のコーナー）を併せて参照して下さい。

- ・ 「農薬の適用病害虫の範囲及び使用方法に係る適用農作物等の名称について」に係るQ & A
（農林水産省 農薬のコーナー）

<https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/>

また、判断に迷う場合は、農業農村振興事務所農産普及課又はみらいの農業振興課（連絡先p428）までお問い合わせ下さい。

表1
適用農作物のうち食用又は飼料用に利用される農作物

※食用及び家畜飼料の両方に利用される農作物

大作物群	中作物群	小作物群	作物名	作物名に含まれる別名、地方名、品種名等の例	備考(収穫部位等)				
果樹類	かんきつ	—	天草		果実を収穫するもの				
			アンコール						
			伊予柑						
			愛媛果試第28号	紅まどんな					
			大紅みかん						
			オレンジ	スイートオレンジ、バレンシアオレンジ					
			カープチー						
			かぼす						
			カラ	カラマンダリン、南津海					
			河内晩柑						
			清見						
			きんかん	ニンボウキンカン、マルキンカン					
			グレープフルーツ						
			サガマンダリン						
			サマーフレッシュ						
			シークワサー						
			じゃばら						
			不知火	デコボン					
			すだち						
			せとか						
			セミノール						
			タロガヨ						
			たんかん						
			長門ユズキチ						
			なつみかん	甘夏、なつだいだい					
			ネーブル	ワシントンネーブル					
			はっさく						
			はるか						
			はるみ						
			はれひめ						
			日向夏						
			フィンガーライム	キャビアライム、レモンキャビア					
			ぶんたん	ざぼん、ぼんたん、晩白柚、うちむらさき					
			平兵衛酢						
			ぼんかん						
			マーコット						
			みかん	温州みかん、紀州みかん					
			ゆず						
			ライム						
			レモン						
			ミカン (<i>Citrus</i>) 属、キンカン (<i>Fortunella</i>) 属、カラタチ (<i>Poncirus</i>) 属又はこれらの交配種で、概ね偏球形、球形又は卵形の果実を収穫するものは、これらの作物群に含まれる。						
			仁果類	—		—	かりん		果実を収穫するもの
							なし	日本なし、西洋なし、中国なし	
							びわ		
							マルメロ		
							りんご		
			核果類	もも類		—	もも		果実を収穫するもの
ネクタリン									
小粒核果類	—	あんず		アプリコット					
		うめ							
		すもも		プラム、ブルーベリー					
作物群内の作物間での交配種は、これらの作物群に含まれる。									
ベリー類等の小粒果実類	—	—	おうとう	さくらんぼ	果実を収穫するもの				
			ぶどう	小粒種ぶどう(デラウェア、シラガブドウ、やまぶどう)、大粒種ぶどう(巨峰系4倍体品種、2倍体米国系品種、2倍体欧州系品種、3倍体品種他) 注1)					
			アロニア	チョコベリー					
			がまずみ	ジョミ					
			ぐみ	アキグミ、ダイオウグミ、トウグミ、ナツグミ					
			シーベリー	サジー、サージ、スナヂグミ					
			食用桑(果実)	カラグワ、ヤマグワ					

		すぐり	グースベリー	
		ハスカップ	クロミノウグイスカグラ	
		ふさすぐり	カーラント、カラント、カ ラント、アカフサスグリ、 クロフサスグリ、カシス	
		ブラックベリー		
		ブルーベリー		
		ボイセンベリー		
		やまもも		
		ラズベリー		
-	-	アーモンド		仁を収穫するもの
-	-	あけび(果実)		果実を収穫するもの
-	-	アセロラ		
-	-	アテモヤ		
-	-	アボカド		
-	-	いちじく		
-	-	いちよう(種子)	ギンナン	種子を収穫するもの
-	-	インドナツメ	イヌナツメ	果実を収穫するもの
-	-	オリーブ		
-	-	カカオ		種子を収穫するもの
-	-	かき		果実を収穫するもの
-	-	カニステル	エッグフルーツ、クダモノ タマゴ	
-	-	キウイフルーツ		
-	-	グアバ(果実)	バンジロウ、バンザクロ	
-	-	くり		種子を収穫するもの
-	-	くるみ		
-	-	コーヒーノキ		
-	-	ゴレンシ	スターフルーツ	果実を収穫するもの
-	-	ざくろ		
-	-	サボジラ		
-	-	さるなし	こくわ、香粋	
-	-	さんしょう(果実)		
-	-	ジャボチカバ		
-	-	食用つばき(種子)		種子を収穫するもの
-	-	ストロベリーグアバ		果実を収穫するもの
-	-	チェリモヤ		
-	-	なつめ		
-	-	パイナップル		
-	-	パッションフルーツ	くだものつけいそう	
-	-	バナナ		
-	-	パパイヤ	青パパイヤ	果実を収穫するもの。 完熟していないものを 含む。
-	-	はまなす(果実)		果実を収穫するもの
-	-	バンレイシ	シャカトウ、アテス、シュ ガーアップル	
-	-	ピタヤ	ホワイトピタヤ、レッドピ タヤ、ゴールドピタヤ、 ドラゴンフルーツ	
-	-	ピタンガ	タチバナアデク、スリナム チェリー、ブラジルチェ リー	
-	-	フェイジョア	パイナップルグアバ	
-	-	ペカン		種子を収穫するもの
-	-	ペピーノ		果実を収穫するもの
-	-	ポポー	アケビガキ	
-	-	ホワイトサポテ		
-	-	マンゴー		
-	-	ミラクルフルーツ		
-	-	むべ		
-	-	やえやまあおき	ノニ	
-	-	リュウガン	ロンガン、竜眼	
-	-	レイシ	ライチ	
-	-	レンブ	ジャワフトモモ	
野菜類	いも類	アメリカホドイモ	アピオス	塊根を収穫するもの
		かんしょ	さつまいも、シモンいも	
		きくいも	ブタイモ	塊根を収穫するもの
		キャッサバ		塊根を収穫するもの
		こんにやく		塊根を収穫するもの
		さといも	えびいも、たけのこいも、 やつがしら、セレバス	
		ちよろぎ		
		はすいも(塊茎)		
		ばれいしょ	じゃがいも	
		みずいも	田いも	
		ヤーコン		塊根を収穫するもの
		やまのいも	やまといも、自然薯、丸い も、ながいも、とっくりい も、いせいも、いちようい も、つくねいも、だいじょ	塊根を収穫するもの

根菜類	-	うこん	秋ウコン、キョウオウ、春ウコン	根茎を収穫するもの
		かえんさい	デトロイトダークレッド、レッドビート、ガーデンビート	根を収穫するもの
		かのこそう	ハルオミナエシ	根茎及び根を収穫するもの
		かぶ	赤かぶ、赤菜、温海かぶ、稲核菜、大かぶ、鬼首菜、源助カブナ、こかぶ、小牛田菜、聖護院かぶ、清内路あかね、酢茎菜（すぐきな）、長禅寺菜、津田かぶ、天王寺かぶ、鳴沢菜、羽広菜、ひのなかぶ（日野菜）、福島菜、紅かぶ、ゆるぎかぶ（万木かぶ）	茎葉及び根を収穫するもの
		甘草	ウラルカンゾウ、スペインカンゾウ	根及びストロンを収穫するもの
		ごぼう		根を収穫するもの
		しょうが	根しょうが	根茎を収穫するもの
		葉しょうが	やなかしょうが、はじかみしょうが、筆ショウガ	生葉のついたままの若い根茎を収穫するもの
		食用あまどころ		根茎を収穫するもの
		食用ききょう（根）		根を収穫するもの
		西洋ごぼう	サルシファイ、バラモンジン、サルシフィー	
		セルリアック	根セロリ、根セルリ	
		だいこん	葉だいこん、だいこんな	茎葉及び根を収穫するもの
		チコリ（根株）	キクニガナ	根を収穫するもの
		てんさい※	サトウダイコン	根を採糖目的に収穫するもの
		にんじん	金時にんじん、西洋にんじん、島にんじん	根を収穫するもの
		にんじん（葉）	葉にんじん	比較的若い葉を根とともに収穫するもの
		パースニップ		根を収穫するもの
		はつかだいこん	廿日大根、ラディッシュ、二十日大根	茎葉及び根を収穫するもの
		紫うこん	ガジュツ	根茎を収穫するもの
		もりあざみ	やまごぼう、ごぼうあざみ	根を収穫するもの
		薬用にんじん	おたねにんじん、チョウセンニンジン、コウライニンジン	
		わさびだいこん	ホースラディッシュ、西洋わさび	
鱗茎類	鱗茎類（根物）	たまねぎ		鱗茎を収穫するもの
		葉たまねぎ	葉玉葱	たまねぎの比較的若い段階（鱗茎が太り始める頃）の葉及び鱗茎を収穫するもの
		食用ゆり	ゆりね	鱗茎を収穫するもの
		にんにく	ジャンボニンニク、エレファントガーリック、グレートヘッドガーリック	
		葉にんにく		にんにくの比較的若い段階の葉及び鱗茎を収穫するもの
		のびる		葉及び鱗茎を収穫するもの
		ベルギーエシャロット	エシャロット	鱗茎を収穫するもの
		らっきょう	らっきょう（エシャレット栽培）、らっきょう（エシャロット栽培）	
	鱗茎類（葉物）	あさつき	イトネギ、センボンワケギ	葉及び鱗茎を収穫するもの
		ぎょうじゃにんにく		
		チャイブ	エゾネギ、セイヨウアサツキ、シブレット	葉を収穫するもの
		にら	黄にら	
		にら（花茎）	花にら	花蕾及び花茎を収穫するもの
		にんにく（花茎）		花茎を収穫するもの
		ねぎ	九条ねぎ、加賀太ねぎ、千住ねぎ、やぐらねぎ、下仁田ねぎ、リーキ、わけねぎ	茎葉を収穫するもの
		わけぎ		葉及び鱗茎を収穫するもの

		作物群内の作物間での交配種は、これらの作物群に含まれる。		葉及び鱗茎を収穫するもの
豆類（種実）	-	あずき	大納言	成熟した種子を収穫するもの
		いんげんまめ	いんげん、きんときまめ、とらまめ、うずらまめ	
		えんどうまめ		
		ささげ		
		そらまめ		
		だいず※		
		なたまめ		
		ふじまめ	千石豆、カガツルマメ、ツルマメ	
		べにばないんげん	はなまめ	
らっかせい	なんきんまめ、ピーナッツ			
豆類（未成熟）	-	えだまめ		未成熟なさや付き豆を収穫するもの
		さやいんげん	ヒラザヤインゲン、モロッコインゲン	
		さやえんどう	きぬさやえんどう、スナックえんどう、砂糖えんどう、スナックエンドウ	
		実えんどう	うすいえんどう、グリーンピース	未成熟な種子（さや付で収穫されるものを含む）を収穫するもの
		未成熟ささげ	十六ささげ、あきしまささげ	未成熟なさや付き豆を収穫するもの
		未成熟しかくまめ	ウリズン、トウサイ	
		未成熟そらまめ		未成熟な種子（さや付で収穫されるものを含む）を収穫するもの
		未成熟なたまめ		
		未成熟ふじまめ	未成熟千石豆、未成熟カガツルマメ、未成熟ツルマメ	未成熟なさや付き豆を収穫するもの
うり類	うり類（未成熟）	赤毛ウリ	モーウィ	果実を収穫するもの
		エホバク	韓国カボチャ	
		きゅうり	乙事赤うり	
		きゅうり（花）	花丸きゅうり	
		食用ひょうたん		
		食用へちま		
		しろうり	あおうり、カリモリ、はぐらうり、青しまうり、くろうり、桂うり	
		ズッキーニ		
		ズッキーニ（花）	花ズッキーニ	
		とうがん	かもうり、冬瓜	
		にがうり	つるれいし	
		はやとうり		
		ゆうがお	かんびょう	
		うり類（成熟）	かぼちゃ	
	すいか			成熟した果実を収穫するもの
	漬物用すいか		源吾兵衛西瓜	未成熟な果実を収穫するもの
	ツノニガウリ		キワノ	成熟した果実を収穫するもの
	まくわうり		菊メロン、銀泉、金太郎、金俵、タイガーマロン、ニューメロン、悠紀メロン	成熟した果実を収穫するもの
	漬物用まくわうり		ぺっちゃんうり	未成熟な果実を収穫するもの
	メロン		アールスメロン、アムスメロン、アンデスメロン、エリザベスメロン、キンショウメロン、キンショーマロン、クインシーメロン、タカミメロン、ハニーデューメロン、パイヤメロン、プリンスメロン、ハミウリ	成熟した果実を収穫するもの
	漬物用メロン		未成熟な果実を収穫するもの	
なす科果菜類	-	しょくようほおずき	ゴールデンベリー、トマティロ、グラントチェリー	果実を収穫するもの

		トマト		果実を収穫するもの。 直径3 cm以下のものは 含まない。
		ミニトマト		果実を収穫するもの。 直径3 cm以下のもの。
		なす		果実を収穫するもの
	ピーマン及びとうがらし類	甘長とうがらし	伏見とうがらし、万願寺とうがらし、三宝とうがらし、ひもとうがらし	果実を収穫するもの。 未成熟の状態で作 用する甘味種。
		かぐらなんぼん		果実を収穫するもの
		きだちとうがらし		
		ししとう	ししとうがらし、獅子唐、葵ししとう	
		とうがらし	鷹の爪、八房、日光とうがらし、札幌大長とうがらし	果実を収穫するもの。 未成熟の状態、ある いは完熟させて利用 する辛味種。
		ハバネロ		果実を収穫するもの
		ピーマン	大獅子、カリフォルニアワ ンダー、カラーピーマン、 オランダパプリカ	
		ピカンテ		
あぶらな科野菜（花 蕾及び茎）	はなやさい類	カリフラワー	はなやさい、さんごしょ う、ロマネスコ、カリフ ローレ	花蕾及び花茎を収穫す るもの
		茎ブロッコリー	スティックセニョール	
		ブロッコリー		
		作物群内の作物間での交配種は、これらの作物群に含まれる。		
	あぶらな科茎野菜	コールラビ	球茎カンラン、蕪キャベツ	肥大した茎を収穫する もの
		ザーサイ	茎タカナ、海野（肥大 茎）、四川搾菜（肥大茎）	
葉菜類	非結球あぶらな科葉 菜類	あざみな	チリメンカラシ、ハゴロモ カラシナ	茎葉（花茎がのびだす 前のもの）を収穫する もの
		あじみな	味美菜	
		あぶらな	仙台芭蕉菜、はたけな（畑 菜）、姫路若菜、やまとま な（大和真菜）	
		飯田冬菜		
		潮江菜		
		海野（茎葉）		
		大高菜		
		大山そだち		
		カーボロネロ	黒キャベツ	
		かぶな	木曾菜、なかじまな（中島 菜）	
		かほくな	河北菜	
		からしな	黄からしな、葉からしな、 やましおな、レッドアジ アンマスタード、グリーンマ スタード、セリフォン	
		ケール	ハゴロモカンラン、リョク ヨウカンラン	
		ケールッコラ		
		こまつな	小松菜	
		さがみグリーン		
		さぬきな		
		四川搾菜（茎葉）	たけのこたかな	
		千宝菜	千宝菜1号（せんぼうさい 1号）、千宝菜2号（せん ぼうさい2号）	
		タアサイ	仙台雪菜、タアサイ（ター サイ、ターツァイ、如月 菜、きさらぎな、瓢菜、ひ さごな、縮み菜、ちぢみ な）	
		体中菜	ハオチイ菜	
		たかな	高菜、かつおな、せいさ い、山形青菜、三池たかな	
		食べて菜		
		チンゲンサイ	青梗菜	
		チンゲンルッコラ		
		てごろ菜		
		なずな		茎葉を収穫するもの。 春の七草の一種。

なばな類	あさまこな（朝熊小菜）、あすつこ、アレッタ、おおさきな（大崎菜、芹田菜）、太田かぶ（やる菜）、オータムポエム（アスパラ菜、愛味菜）、大月菜、大野菜、かいらん、かさな（かき菜、宮内菜、宮崎菜、CO菜、川流れ菜、五月菜、芯切菜）、勝山水菜（平泉寺水菜、郡水菜、さんまい水菜、北市水菜）、くきたちな（会津茎立菜、カブレ菜、縮緬茎立菜）、ケールッコラ（なばな栽培）、こうさいたい（紅菜苔）、こまつな（なばな栽培）、さいしん（菜芯、油菜芯）、三景雪菜、四川児菜（子持たかな、祝蕾）、たべたい菜、チーマデラーパ、チンゲンサイ（なばな栽培）、チンゲンルッコラ（なばな栽培）、摘菜花、つぼみな（つぼみ菜、三陸	茎葉及び花蕾を収穫するもの
	つぼみ菜、あでやかつぼみ菜）、なばな（なのはな、はなな）、のらぼう菜（のらぼう菜）、博多蕾菜、はくさい（なばな栽培）（ふくたち）、はたけな（畑菜）（なばな栽培）、はなっこりー、みずかけな（水掛菜）、めいけな（女池菜、新潟なばな、角田冬菜、新潟小松菜）	
のざわな	野沢菜	茎葉（花茎がのびだす前のもの）を収穫するもの
パクチョイ		
畑わさび	おかわさび	葉、花茎、根茎及び根を収穫するもの。畑地で栽培されるもの。
畑わさび（根茎）	おかわさび	根茎を収穫するもの。畑地で栽培されるもの。
畑わさび（葉）	葉わさび	葉を収穫するもの。畑地で栽培されるもの。
非結球はくさい	小倉はくさい菜、さんとうさい（山東菜、べかな、非結球はくさい、半結球はくさい、いがむらさき）、しろな（大阪しろな、なにわ菜、京の里しろな、いなみ菜）、たいさい（体菜、たいな、雪白体菜、二貫目体菜、しゃくし菜、長岡菜、下北春まな）、長崎はくさい（長崎白菜、唐人菜、唐菜）、博多白菜、ひこしまはるな（彦島春菜）、ビタミン菜、ひろしまな（広島菜）、優愛菜	茎葉（花茎がのびだす前のもの）を収穫するもの
非結球メキャベツ	プチヴェール、ミニベール	茎葉及び脇芽を収穫するもの
べんり菜		茎葉（花茎がのびだす前のもの）を収穫するもの
みずな	みずな（京菜、水菜、京水菜）、みぶな（壬生菜）	
餅菜	正月菜	
山形みどりな		
ラファノブラシカ		茎葉及び花蕾を収穫するもの

	ルッコラ	ロケット、セルバチコ、ガ ルギール、エルーカ	茎葉（花茎がのびだす 前のもの）を収穫する もの
	わさびな		
	作物群内の作物間での交配種は、これらの作物群に含まれる。		茎葉（花茎がのびだす 前のもの）又は茎葉及 び花茎を収穫するもの
	<i>Brassica rapa</i> 、 <i>B. oleracea</i> 、 <i>B. juncea</i> 又はこれらの交配種で、非結球の茎葉又は 茎葉及び花蕾を収穫するものも含まれる（根菜類、結球あぶらな科葉菜類、はなやさい 類及びあぶらな科茎野菜に含まれる作物は除く。）。		
結球あぶらな科葉菜類	キャベツ	チリメンキャベツ、サボイ キャベツ	結球した茎葉を収穫する もの
	はくさい		
	メキャベツ	芽キャベツ、こもちかんら ん	結球した腋芽（脇芽） を収穫するもの
	作物群内の作物間での交配種は、これらの作物群に含まれる。		結球した茎葉を収穫する もの
せり科葉菜類	あしたば		茎葉を収穫するもの
	キャラウエイ（葉）	ヒメウイキョウ	
	きんさい	スープセルリー、シャンサ イ、中国ゼリ、キンツァ イ、ミニホワイト	
	コリアンダー（葉）	香菜、シャンツァイ、パク チー、コエンドロ	
	せり		
	セルリー		
	チャービル	ウイキョウゼリ、セル フィーユ	
	ディル（葉）	イノンド、時蘿	
	とうき（葉）		
	パセリ	モスカールドパセリ、イタ リアンパセリ	
	はまぼうふう（葉）		葉を収穫するもの
	フェネル（葉）	ういきょう、スティッキオ	茎葉を収穫するもの
	ぼたんぼうふう	長命草、サクナ、チョー ミーグサ	
	みつば	青みつば、切りみつば、根 みつば	
レタス類	エンダイブ	ニガヂシャ、キクヂシャ	茎葉を収穫するもの
	トレビス	トレビツ	結球した茎葉を収穫する もの
	非結球レタス	かきちしゃ（サンチュ、チ マサンチュ） サラダ菜（バターヘッド型 レタス、バターヘッド型た まちしゃ）、立ちちしゃ （ロメインレタス、コスレ タス）、美味タス（ピミタ ス）、リーフレタス（葉ち しゃ、チリメンチシャ、サ ニーレタス、シルクレタ ス、フリルレタス、オーク リーフレタス、パタピアレ タス、ロロロッサ）	葉を収穫するもの 茎葉を収穫するもの
	ブンタレッラ		花茎及び葉を収穫する もの
	レタス	クリスプヘッド型たまち しゃ	結球した茎葉を収穫する もの
	カレープラント		茎葉を収穫するもの
レタス類以外のきく 科葉菜類	きく（葉）	きく葉	葉を収穫するもの
	こおにたびらこ		茎葉を収穫するもの。 春の七草では、ほとけ のぞといわれているも の。
	ごまな		茎葉を収穫するもの
	さわあざみ	まあざみ	葉を収穫するもの
	しゅんぎく	菊菜、スティックシュンギ ク	茎葉を収穫するもの
	食用西洋たんぽぽ	食用タンポポ、ダンデライ オン	葉を収穫するもの
	すいぜんじな	金時草、ハンダマ	茎葉を収穫するもの
	タラゴン	エストラゴン、フレンチタ ラゴン、ロシアンタラゴン	
	葉ごぼう		比較的若い葉を根とと もに収穫するもの
	ははこぐさ	ごぎょう、おぎょう	茎葉を収穫するもの。 春の七草の一種。

	ほそばわだん	にがな、ンジャナ	茎葉を収穫するもの
	もみじがさ	しどけ、モミジクサ、タイ コウナ、トウキチナ	
	ヤーコン (茎葉)		
	よぶすまそう	ぼんな、ホンナ	
	よめな	はぎな	
	よもぎ		
しそ科葉菜類	えごま (葉)		
	オレガノ	ハナハッカ、ワイルドマ ジョラム	
	しそ	おおば	
	セージ	コモンセージ、パイナップ ルセージ、チェリーセー ジ、レッドセージ	
	タイム	コモンタイム、クリーピン グタイム、レモンタイム、 カピタートゥス (ペルシアン・ ヒソップ)、オレンジ タイム、ジギス (ソースタ イム)	
	バジル	スイートバジル、ダークオ パールバジル、メボウキ、 ホーリーバジル、レモンバ ジル	
	はっか	ミント、スペアミント、ペ パーミント、アップルミン ト	
	マジョラム	スイートマジョラム、 ポットマジョラム、ゴール デンマジョラム、マヨラナ	
	レモンバーム	セイヨウヤマハッカ	
	ローズマリー	マンネンロウ	
ヒユ科葉菜類	アマランサス (茎葉)	ハゲイトウ、アオビユ、ホ ナガイヌビユ、ひゆな	葉を収穫するもの
	おかひじき	クサヒジキ、オカミル、ミ ルナ	
	ふだんそう	ベトラーブ、あかふだんそ う、スイスチャード、デト ロイト	茎葉を収穫するもの
	ほうれんそう		茎葉を収穫するもの
—	アイスプラント		
—	あかざかずら	オカワカメ、琉球百薬、雲 南百薬	葉を収穫するもの
—	うこぎ	ウコギ (ヤマウコギ)、ヒ メウコギ	茎葉を収穫するもの
—	えびすぐさ (茎葉)	ロッカクソウ	地上部の全草を収穫す るもの
—	エルバステラ		地上部全草を収穫する もの
—	エンサイ	エンツァイ、あさがおな、 空心菜、通菜、ヨウサイ	茎葉を収穫するもの
—	おかのり		
—	おらんだわれもこう	サラダバーネット	葉を収穫するもの
—	かわらけつめい		地上部全草 (茎葉及び 豆果) を収穫するもの
—	かんしょ (茎葉)		茎葉を収穫するもの
—	きゅうり (葉)		きゅうりの葉を収穫す るもの
—	食用すいば	ソレル、オゼイユ	葉を収穫するもの
—	食用すべりひゆ		茎葉を収穫するもの
—	ストリドーロ	シラタマソウ	地上部全草を収穫する もの
—	つるな	はまな、はまちしゃ	茎葉を収穫するもの
—	つるむらさき	シンツルムラサキ	
—	とうがらし (葉)		葉を収穫するもの
—	どくだみ		地上部全草を収穫する もの
—	はこべ	こはこべ、みどりはこべ	茎葉を収穫するもの
—	はぶそう (茎葉)		地上部全草を収穫する もの
—	ポリジ	ルリジサ	茎葉及び花を収穫する もの
—	マーシュ	コーンサラダ、マーシュレ タス	茎葉を収穫するもの
—	モロヘイヤ	タイワンツナソ、シマツナ ソ	
—	やなぎたで	アユタデ、ほんたで、マタ デ	
—	ゆきのした		葉を収穫するもの

	—	レモングラス	メリッサグラス、レモンガヤ、レモンソウ、フィーバーグラス	茎葉を収穫するもの	
	—	レモンバーベナ	コウスイボク		
茎野菜類	ずいき類	さといも(葉柄)	ずいき、だついも	葉柄を収穫するもの	
		はずいも(葉柄)			
		みずいも(葉柄)	タイモ		
	ふき類	つわぶき			
		ふき			
	—	アスパラガス		新芽を収穫するもの	
	—	いたどり(芽)		芽を収穫するもの	
	—	うど		若い茎葉部を収穫するもの	
	—	くきちしゃ	やまくらげ、トムシャ、ステムレタス	茎及び上部の若い葉を併せて収穫するもの	
	—	くさそてつ	こごみ、ガンソク、コゴメ、クグミ、ニワソテツ	葉を収穫するもの	
	—	ぜんまい			
	—	フローレンスフェンネル		葉柄の基部の肥大した部分を収穫するもの	
—	ルバーブ	シヨクヨウダイオウ	葉柄を収穫するもの		
—	わらび		葉を収穫するもの		
食用花	—	かんぞう(花)	シナカンゾウ、ノカンゾウ、ヤブカンゾウ、黄花菜、金針菜	蕾を収穫するもの	
	—	しそ(花穂)		花穂を収穫するもの	
	—	しゅんぎく(花)		花を収穫するもの	
	—	食用あさがお		花又は蕾を収穫するもの	
	—	食用アスター	えぞぎく	花を収穫するもの	
	—	食用アリッサム			
	—	食用インパチェンス	アフリカハウセンカ、ニューギニア・インパチェンス		
	—	食用エキザカム			
	—	食用カーネーション			
	—	食用ぎく			
	—	食用金魚草	スナップドラゴン		
	—	食用きんせんか	カレンジュラ		
	—	食用コスモス			
	—	食用シネラリア	フウキギク、サイネリア		
	—	食用ジャメスプリテニア			
	—	食用ストック			
	—	食用せんにちこう	千日紅		
	—	食用トルコギキョウ			
	—	食用トレニア			
	—	食用ナスタチウム	ノウゼンハレン、キンレンカ		
	—	食用なでしこ			
	—	食用パンジー			
	—	食用ヒメヒマワリ			
	—	食用プリムラ	食用さくらそう		
	—	食用フロックス			
	—	食用ベゴニア			
	—	食用ペチュニア			
	—	食用べにばな(花)			
	—	食用ペンタス			
	—	食用マーガレット			
	—	食用マリーゴールド			
	—	食用ミニバラ	食用バラ		
	—	食用モモイロタンポポ	クレピス		
	—	食用やぐるまぎく		花を収穫するもの(山野草のやぐるまそうとは別種)	
	—	食用ラベンダー	イングリッシュ・ラベンダー	茎葉及び花を収穫するもの	
	—	食用リナリア		花を収穫するもの	
	—	食用ルドベキア	オオハンゴンソウ		
	—	花オクラ			
	—	—	アーティチョーク	ちょうせんあざみ	花蕾を収穫するもの
	—	—	あけび(茎葉)	キノメ	茎葉(若芽)を収穫するもの
—	—	あまちゃ		茎葉を収穫するもの	
—	—	いちご	オランダイチゴ	果実を収穫するもの	
—	—	いちよう(葉)		葉を収穫するもの	
—	—	うめ(花)		花を収穫するもの(枝付きを含む)	
—	—	オクラ		果実を収穫するもの	
—	—	オリーブ(葉)		葉を収穫するもの	
—	—	ガーデンハックルベリー		果実を収穫するもの	
—	—	かき(葉)		葉を収穫するもの	

		カモミール	カモマイル、カミツレ、 ジャーマンカモミール、 ローマンカモミール	花を収穫するもの
		ぎぼうし	うるい	茎葉を収穫するもの
		グアバ(葉)		葉を収穫するもの
		くこ(果実)	枸杞子(クコシ)	果実を収穫するもの
		くこ(葉)	枸杞葉(クコヨウ)	葉を収穫するもの
		くり(葉)		葉を収穫するもの
		クレソン	ウォータークレス	茎葉を収穫するもの
		くわい		塊茎を収穫するもの
		サフラン		めしべを収穫するもの
		さんしょう(葉)	木の芽	葉を収穫するもの
		じゅんさい		茎葉を収穫するもの
		食用アジアンタム		葉を収穫するもの
		食用アロエ	キュラソーアロエ、ケーブ アロエ	
		食用おやまぼくち		茎葉を収穫するもの
		食用かえで(葉)		葉を収穫するもの
		食用桑(葉)		
		食用月桂樹	ローリエ	
		食用さくら(葉)	さくら葉	
		食用さくら(花)		花を収穫するもの(枝 付きを含む)
		食用サボテン	ウチワサボテン、ノパール	茎節を収穫するもの
		食用べにばな(茎葉)		茎葉を収穫するもの
		食用ほおのき(葉)		葉を収穫するもの
		たけのこ	マダケ、モウソウチク、ハ チク、ねまがりだけ	若い桿を収穫するもの
		たらのき	たらのめ	新芽を収穫するもの
		チコリ	キクニガナ	茎葉(軟化させた芽) を収穫するもの
		とちゅう(葉)		葉を収穫するもの
		なんてん(葉)		
		バニラ		果実を収穫するもの
		ひきおこし	えんめいそう	地上部全草を収穫する もの
		ひし		種子を収穫するもの
		びわ(葉)		葉を収穫するもの
		ふき(ふきのとう)	ふきのとう	ふきのとうを収穫する もの
		ほうきぎ	とんぶり、ほうきぐさ	胞果を収穫するもの
		まこもたけ	まこも	マコモクロホ菌の寄生 により肥大したまこも の茎を収穫するもの
		みょうが(茎葉)	みょうがたけ	軟化させた茎葉を収穫 するもの
		みょうが(花穂)	はなみょうが	花穂を収穫するもの
		もも(花)		花を収穫するもの(枝 付きを含む)
		やぶかんぞう(茎葉)		茎葉を収穫するもの
		やまのいも(むかご)	ナガイモのむかご、ヤマノ イモ(ジネンジョ)のむか ご	むかご(肉芽)を収穫 するもの
		ヤングコーン	ベビーコーン	とうもろこしの幼果 (雌穂)を収穫するも の
		れんこん	はす	根茎を収穫するもの 水系で栽培されるもの
		ローゼル		肥大した萼及び苞を収 穫するもの
		わさび	みずわさび	葉、花茎、根茎及び根 を収穫するもの。 水系で栽培されるも の。
		わさび(根茎)	みずわさび	根茎を収穫するもの。 水系で栽培されるも の。
きのこ類		えのきたけ		子実体(きのこ)を収 穫するもの
		エリンギ	カオリヒラタケ	
		しいたけ		
		なめこ		
		ひらたけ		
		ぶなしめじ		
		まいたけ		
		マッシュルーム	ツクリタケ	
穀類		稲※	水稻(移植、直播)、陸稲	種子又は稲わらを収穫 するもの
麦類		えんばく※	オートムギ、エン麦、カラ スムギ	種子を収穫するもの

			大麦※	二条種、六条種、はだか麦	
			小麦※		
			ライ麦※		
	ヒユ科雑穀類	—	アマランサス（種子）	ヒモゲイトウ、センニンコク、スギモリケイトウ、フジゲイトウ、繁穂ヒユ、種粒ヒユ	
			キノア		
	イネ科雑穀類	—	あわ		
			きび		
			食用ソルガム※	もろこし、たかきび、こうりゃん	
			はとむぎ		
			ひえ		
	とうもろこし	—	とうもろこし（子実）※		
			未成熟とうもろこし	スイートコーン	種子（ある程度成熟した雌穂）を収穫するもの
	—	—	そば	だったんそば	種子を収穫するもの
—	—	—	えごま（種子）		
—	—	—	えびすぐさ（種子）	ロッカクソウ	
—	—	—	キャラウェイ（果実）	ヒメウイキョウ	果実を収穫するもの
—	—	—	からしな（種子）		種子を収穫するもの
—	—	—	こしょう		果実を収穫するもの
—	—	—	ごま※		種子を収穫するもの
—	—	—	コリアンダー（果実）	コエンドロ	果実を収穫するもの
—	—	—	さとうきび		茎を採糖目的に収穫するもの
—	—	—	しそ（種子）		種子を収穫するもの
—	—	—	食用亜麻		
—	—	—	食用おおばこ（種子）	シャゼンシ	
—	—	—	食用べにばな（種子）		
—	—	—	食用綿実		
—	—	—	茶		新芽を収穫するもの
—	—	—	ディル（種子）		種子を収穫するもの
—	—	—	なたね※		
—	—	—	はぶそう（種子）		
—	—	—	ひまわり（種子）		
—	—	—	フェネル（種子）	ういきょう（種子）	
—	—	—	ぺぼかぼちゃ（種子）		
—	—	—	ホップ	セイヨウカラハナソウ	雌花穂を収穫するもの
飼料作物	牧草	—	いね科牧草	オーチャードグラス、チモシー、イタリアンライグラス、トールフェスク、ペレニアルライグラス、バヒアグラス	家畜飼料用に茎葉を収穫するもの
		—	まめ科牧草	赤クローバー、白クローバー、アルファルファ	
	—	—	飼料用えんばく		
	—	—	飼料用さとうきび		
	飼料用とうもろこし	—	飼料用とうもろこし（青刈り）		家畜飼料用に茎葉を収穫するもの
		—	飼料用とうもろこし（子実）		家畜飼料用に種子を収穫するもの
	—	—	ソルガム	スーダングラス	家畜飼料用に茎葉を収穫するもの

注1)

「小粒種ぶどう」は1粒重量が1.5g程度のぶどうをいい、「大粒種ぶどう」はこれより重いぶどうをいう。

巨峰系4倍体品種ぶどう

巨峰、ピオーネ、安芸クイーン、藤稔、サニールージュ、翠峰、黒王、ゴルビー、紫玉、シナノスマイル、高妻、多摩ゆたか、白峰、紅義、伊豆錦、出雲クイーン、イチキマール、ウエハラ540号、オーロラブラック、オリンピア、さがみ、ジャスミン、ダークリッジ、高墨、ハイベリー、ハニーブラック、ハニービーナス、ブラックオーパス、ブラックオリンピア、紅伊豆、紅瑞宝、紅富士、紅やまびこ、竜宝、レッドクイーン、ロードベリー、黄玉、天秀等

2倍体米国系品種ぶどう

アジロンダック、マスカットベリーA、バッファロー（アーリースチューベン）、ナイヤガラマラベルファ、ウルバナ、キャンベル、キャンベルアーリー、スチューベン、セイベル9110、セネカ、大玉露、タノレッド、旅路、ナイアガラ、紅金沢、紅塩谷、紅南陽、ポートランド、レッドポート、ピアレス、ニューヨークマスカット、ノースブラック、ノースレッド、バイオレットウエハラ、フレドニア、ヒムロッドシードレス等

2倍体欧州系品種ぶどう

瀬戸ジャイアンツ、ロザキ、マリオ、ロザリオビアンコ、ルビーオクヤマ、マスカットオブアレキサンドリア、シャインマスカット、CG88435、アルフォンスラバレー、イタリア、甲斐乙女、甲斐路、カッタクルガン、カベルネソービニオン、グリーンサマー、クルガンローズ、ケニギンデルワインガルデン、甲州、甲州三尺、ゴールド、ゴールドフィンガー、ザバルカンスキー、シトロンネル、シャルドネ、赤嶺、セシリア、乍那、チェリー、京早晶、ニューナイ、ネオマート、ネオマスカット、ネヘレスコール、バラディ、ビーナス、ピッテロビアンコ、ブラックスワン、ブラック三尺、フレームトーカー、貝甲干、紅アレキ、紅三尺、紅環、ベニピッテロ、馬乃子、マスカット甲府、マスカットデュークアモレ、マスカットハンブルグ、マスカットビオレ、マニキュアフィンガー、モルゲンシェーン、ヤトミローザ、ユニコーン、リザマート、リッシバーバ、竜眼、涼玉、ルーベルマスカット、ルビー大久保、レッドグローブ、レッドネヘレスコール、ローヤル、ロザリオロツソ、アリサ、黄華、紫苑、ヒロハンブルグ等

3倍体品種ぶどう

キングデラ、サマーブラック、甲斐美嶺、ナガノパープル、安芸シードレス、美嶺等

注2)

大作物群及び中作物群の豆類（種実）、豆類（未成熟）及びピーマン及びとうがらし類については、これら作物群に含まれるものとして作物名欄に標記されている作物以外のもので、これらの作物群に含まれる作物も含まれる。

表2
適用農作物のうち食用又は飼料用に利用されない農作物等

大グループ名	中グループ名	作物名	作物名に含まれる別名、 地方名、品種名等の例	備考(収穫部位等)
薬用作物		うすばさいしん	さいしん	全草を収穫するもの
		おうぎ	キバナオウギ、ナイモウ オウギ	根を収穫するもの
		おうれん		根茎を収穫するもの
		おけら	オオバナオケラ、ホソバ オケラ	根茎を収穫するもの
		げんのしょうこ		全草を収穫するもの
		こがねばな	おうごん	根を収穫するもの
		じおう		根茎を収穫するもの
		しゃくやく(薬用)		根を収穫するもの
		セネガ	ヒロハセネガ	根を収穫するもの
		せんきゅう		根茎を収穫するもの
		せんぶり		全草を収穫するもの
		だいおう	信州大黃	根茎を収穫するもの
		とうき		根茎を収穫するもの
		とうすけぼうふう		根を収穫するもの
		とりかぶと(薬用)		塊根を収穫するもの
		みしまさいこ		根茎を収穫するもの
		薬用アロエ	キュラソーアロエ、ケー プアロエ	葉の液汁を利用するもの
		薬用いぐさ	とうしんそう	全草を収穫するもの
		薬用いちい		果実以外の地上部を収穫 するもの
		薬用うど		根茎を収穫するもの(軟 化茎を除く)
		薬用おもと		根茎を収穫するもの
		薬用カロライナジャスマ ン		全草を収穫するもの
		薬用ごぼう		果実を収穫するもの
		薬用さわぎきょう		全草を収穫するもの
		薬用すずらん		全草を収穫するもの
		薬用そてつ		種子を収穫するもの
		薬用デンドロビウム	セッコク	茎を収穫するもの
		薬用なんてん		果実を収穫するもの
		薬用ほうせんか		種子を収穫するもの
		薬用ほおずき		根を収穫するもの
		薬用りんどう		根茎を収穫するもの
薬用ロベリア	ロベリアソウ	全草を収穫するもの		
花き類・観葉植物		アイスランドポピー		
		アイビーゼラニウム		
		アイリス		
		アガパンサス		
		アゲラタム		
		あさがお		
		あざみ		
		アジアンタム		
		アジュガ		
		アスター		
		アスチルベ		
		アツザクラ		
		アナナス		
		アネモネ		
		あま		
		アマゾンリリー		
		アマドコロ		
		アメリカンブルー		
		アリウム		
		アルストロメリア		
		アロエ		
		アンズリウム		
		インパチェンス		
		うつぼかずら		
		エキザカム		
		エレムルス		
		おかめざさ		
		オドントグロッサム		
		おみなえし		
		おもと		
		オンシジウム		
カーネーション				
ガーベラ				
花月	フチベニベンケイ、カネ ノナルキ			

ガザニア		
かすみそう		
カトレア		
カラー		
カラジウム		
カランコエ		
カルセオラリア		
カンガルーポー		
観賞用アスパラガス		
観賞用ナス		
観賞用もうそうちく		
カンパニュラ		
ききょう		
きく		
金魚草		
きんせんか		
グラジオラス		
クリサンセマム		
クリスマスローズ		
クルクマ		
クレマチス		
グロキシニア		
クロッカス		
グロリオサ		
けいとう		
げっとう		
ゴールドエンクラッカー		
コスモス		
こちょうらん		
ゴデチア		
コリウス		
コレオプシス		
さくらそう		
サボナリア		
サルビア		
さわぎきょう		
サンセベリア		
サンダーソニア		
シーマニア		
シクラメン		
シネラリア		
しばざくら		
しゃくやく		
しゅうめいぎく		
宿根アスター		
宿根かすみそう		
宿根スターチス		
しらん		
シンビジウム		
すいせん		
スイトピー		
すずらん		
スターチス		
ストック		
ストレプトカーパス		
ストレリチア		
すなごけ		
スパティフィラム		
スピードリオン		
すみれ		
ゼラニウム		
セントポーリア		
せんにちこう		
ソリダゴ		
ソリダスター		
だいもんじそう		
たであい		
たにわたり		
ダリア		
チューベローズ		
チューリップ		
つる日々草		
ディサ		
ディフェンバキア		
ディモルホセカ		
デージー		
デルフィニウム		
デンドロビウム		
デンマークカクタス		

とりかぶと		
トルコギキョウ		
トレニア		
ナスタチウム		
なでしこ		
ニーレンベルギア		
ニゲラ		
日々草		
ネモフィラ		
ノラナ		
バーベナ		
はげいとう		
バコパ		
はなしょうぶ		
はなとりかぶと		
花はす		
はなびしろう		
はぼたん		
ぼら		
パンジー		
バンダ		
ひおうぎ		
ヒポエステス		
ひまわり		
ひめのぼたん		
ひめひまわり		
百日草		
ヒヤシンス		
フィカス・プミラ		
斑入りアマドコロ		
フィロデンドロン		
ブータンルリマツリ		
ブプレウラム		
ブライダルベール		
ブラキカム		
フリージア		
プリムラ		
ブルーサルビア		
ブルースター		
ブルーデージー		
ブルーレースフラワー		
フロックス		
ブロウリア		
ベゴニア		
ペチュニア		
ヘデラ		
べにばな		
ベビーローズ		
ペラルゴニウム		
ヘリクリサム		
ヘルコニア		
ベロニカ		
ほうせんか		
ほおずき		
ポーチュラカ		
ぼたん		
ポトス		
ホワイトレースフラワー		
マーガレット		
まつぼたん		
マトリカリア		
マリーゴールド		
ミムラス		
みやこわすれ		
ミルトニア		
ムスカリ		
モンステラ		
やぐるまぎく		
ゆうぜんぎく		
ユーフォルビア・フルゲ ンス		
ゆり		
ユリオプスデージー		
ラークスパ		
ライスフラワー		
ラナンキュラス		
ラバテラ		
ラベンダー		

		リアトリス			
		リシマキア			
		リムナンテス			
		りんどう			
		ルドベキア			
		ルピナス			
		レザーファン			
		レッドジンジャー			
		れんげ			
		ローレンティア			
		ロケア			
		ロベリア			
		わすれなぐさ			
		わた			
		われもこう			
樹木類	かし類	あかがし			
		あらかし			
		うばめがし			
		うらじろがし			
		しらかし			
	しい類	すだじい	いたじい、しい		
		つぶらじい	こじい、しい		
	つつじ類	アザレア			
		おおむらさき			
		くるめつつじ			
		さつき			
		しゃくなげ			
	つばき類	さざんか			
		とうつばき			
		やぶつばき			
		ゆきつばき			
	なら類	あべまき			
		かしわ			
		くぬぎ			
		こなら			
		みずなら			
	びやくしん類	かいづかいぶき			
		はいびやくしん			
	まつ類	あかまつ			
		くろまつ			
		ごようまつ			
		だいおうしょう	だいおうまつ		
	ヤシ類	アレカヤシ			
		かんのんちく			
		ケンチャヤシ			
		シュロ	ワジュロ		
		シュロチク			
		テーブルヤシ			
		ナツメヤシ			
		フェニックス・ロベレ ニー	シンノウヤシ		
		あおき			
		アカシア			
		あじさい	ハイドランジア		
		アッサムニオイザクラ			
		アフランドラ			
		アベリア			
アラレア					
いちい					
いちよう					
いぬつげ		まめつげ			
いぬまき					
うめもどき					
うるし					
えぞまつ					
エリカ					
おうごんくじゃくひば					
かえで		いたやかえで、いろはも みじ、おおもみじ、とう かえで			
かくれみの					
ガジュマル					
かなめもち					
かばのき		かば、かんば、しらかん ば、だけかんば			
からまつ					
カロライナジャスミン					
きり					
きづた					

きんぼうじゅ		
くちなし		
クロサンドラ		
クロトン		
げっきつ		
げっけいじゅ		
げやき		
こうぞ		
こうやまき		
ゴールドクレスト		
こでまり		
コトネアスター		
ゴムノキ		
コルディリネ		
コンロンカ		
さかき		
さくら		
さるすべり		
さんごじゅ		
さんごみずき		
さんざし		
さんしゅゆ		
さんたんか		
シェフレラ		
しきみ		
ジャカラнда		
ジャスミナム・ポリアンサ		
しゃりんばい		
じんちょうげ		
すぎ		
せいよういわなんてん		
せいようばくちのき		
せんりょう		
そてつ		
ちょうせんまき		
つげ		
デイゴ		
デュランタ		
どうだんつつじ		
とっくりらん		
とちのき		
とどまつ		
とべら		
ドラセナ		
ななかまど		
なんてん		
にしきぎ		
にれ		
のうぜんかずら		
のぼたん		
ハイビスカス		
パキラ		
はなみずき		
ひいらぎなんてん		
ひいらぎもくせい		
ひさかき		
ひのき		
ビブルナム		
ヒペリカム	おとぎりそう、きんしばい、せいようきんしばい	
ヒマラヤスギ	ヒマラヤシーダー	
ふう		
ブーゲンビリア		
ぶな		
ふつきそう		
ブバルディア		
プラタナス		
ベンジャミン		
ポインセチア		
ホクシャ		
ぼけ		
ポプラ		
ポリシャス		
ポロニア		
まさき		
まてばしい		
まんさく		

		マンデビラ		
		みずき		
		みつまた		
		もくせい	きんもくせい、ぎんもくせい	
		もくれん		
		もちのき		
		もっこく		
		やなぎ		
		やぶさんざし		
		ユーカリ		
		ゆきやなぎ		
		ユッカ		
		ゆりのき		
		ランタナ		
		ルリマツリ		
		れんぎょう		
		いぐさ		
		ケナフ		
		しちとうい		
		センチピードグラス		
		たばこ		
芝	西洋芝	西洋芝（オーチャードグラス）		
		西洋芝（ケンタッキーブルーグラス）		
		西洋芝（ティフトン）		
		西洋芝（バーミューダグラス）		
		西洋芝（フェスク）		
		西洋芝（ブルーグラス）		
		西洋芝（ペレニアルライグラス）		
		西洋芝（ベントグラス）		
		西洋芝（ライグラス）		
		日本芝	日本芝（こうらいしば）	
	日本芝（ひめこうらいしば）			
	日本芝（のしば）			
			桑	

注1)

大グループ（薬用作物は専ら医薬品原料に用いられる薬用植物に限る）または中グループについては、これら作物群に含まれるものとして作物名欄に標記されている作物以外のもので、これら作物群に含まれる作物も含まれる。

注2)

大グループ名「薬用作物」は、表1における大作物群「野菜類」の適用のある農薬を使用できる。

附則（平成31年3月29日）

本通知は、平成31年4月1日より適用する。

附則（令和3年1月14日）

1. 本通知による改正後の規定は、令和3年1月14日から適用する。
2. 第1項の規定にかかわらず、食用花の食用すべりひゆの削除に係る規定は、施行日から起算して1年を経過した日から適用する。

附則（令和6年4月1日）

本通知による改正後の規定は、令和6年4月1日から適用する。